

結果の考察と来年度に向けての課題

長野県寿台養護学校 学校評価委員会

1 アンケート回収率について

保護者64%(昨年81%)

教職員91%(昨年95%)

* 11月の参観日でアンケート回収の呼びかけを毎年行ってきたが、今年度は工事の関係で参観日が無くなったことも回収率が昨年より下回った一つの要因か。教職員は非常勤講師の職員も母集団にカウントしたため今回の結果となった。

2 アンケートの実施形態について

* アンケートの質問事項に昨年からの変更はなし。

3 アンケート結果の考察と改善策

* 以下、本年度のアンケートの各設問について、項目ごとに考察をしていく。尚、昨年度の結果と比較し、顕著に異なる結果が見られたものに関して、昨年度の結果と比較しながら考察する。

昨年度の課題 * AB評価が昨年度を下回った項目

<保護者>

学校教育目標(1)(2) 家庭・地域・関係機関と学校との連携(5) 環境整備(7) 学校の対応(11)(12)(14)

健康・安全指導(18) 参観日・授業参観(21)(22) 評価・情報発信(23)(24)

<教職員>

環境整備(7) 評価・情報発信(24)

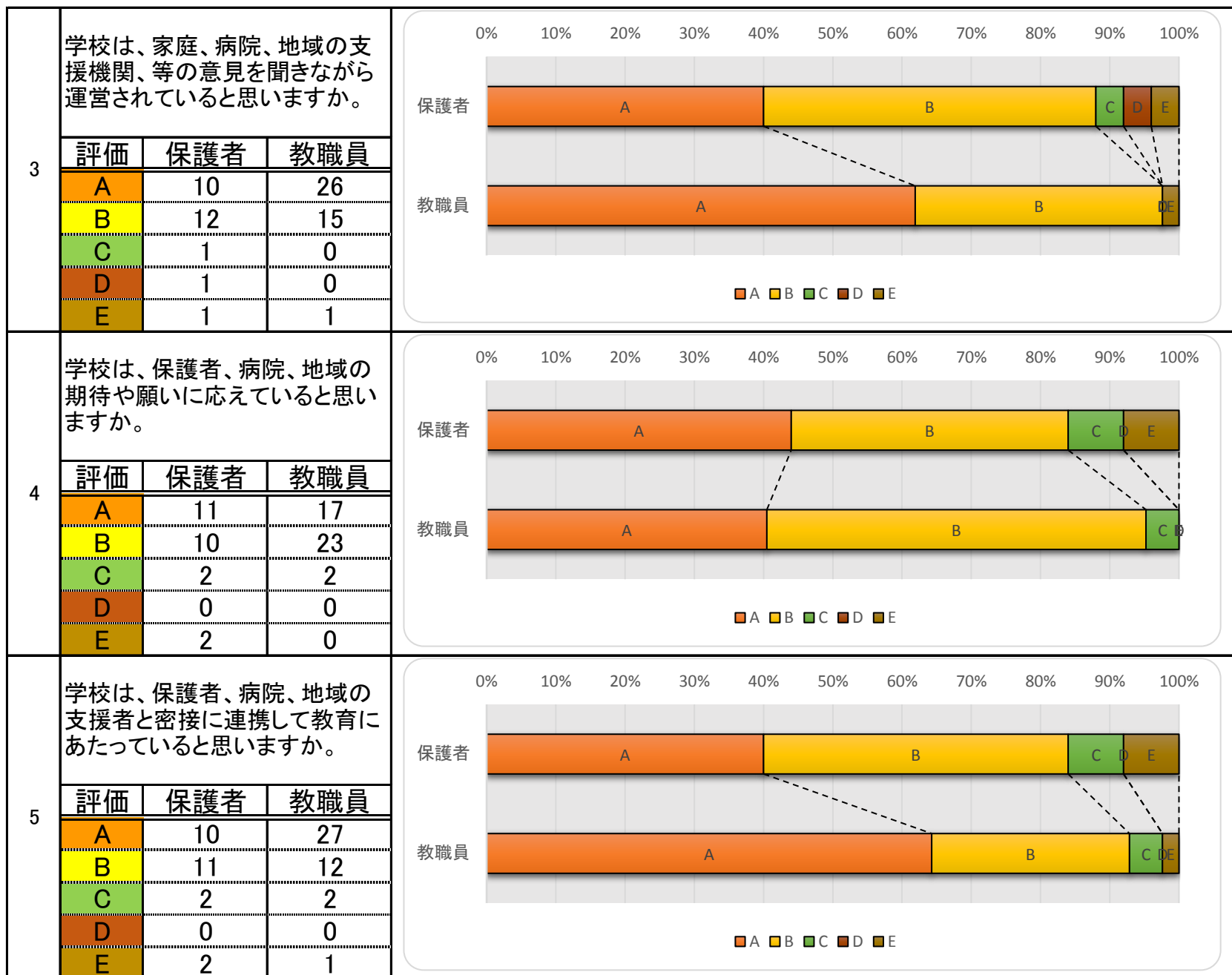
(1) 学校教育目標(設問1~2)

昨年度は「わからない」と回答する保護者が20%あった。
AB評価77%→92%へと評価が上がった。学校目標に基づき教育活動を行った成果であると考え。

No.	設問及び評価の内訳	(A: そう思う B: ややそう思う C: やや思わない D: 思わない E: わからない)		
1	グランドデザインや参観日の校長講話等で示された学校の教育目標は適切なものだと思いますか。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>保護者: A (60%), B (30%), D (5%), E (5%)</p> <p>教職員: A (70%), B (25%), D (5%), E (5%)</p>		
	評価		保護者	教職員
	A		15	30
	B		8	11
	C		0	0
	D		0	0
E	2	1		
2	本校の教育活動は学校教育目標に基づいた適切なものだと思いますか。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>保護者: A (65%), B (25%), D (5%), E (5%)</p> <p>教職員: A (60%), B (30%), D (5%), E (5%)</p>		
	評価		保護者	教職員
	A		16	25
	B		8	16
	C		0	0
	D		0	0
E	1	1		

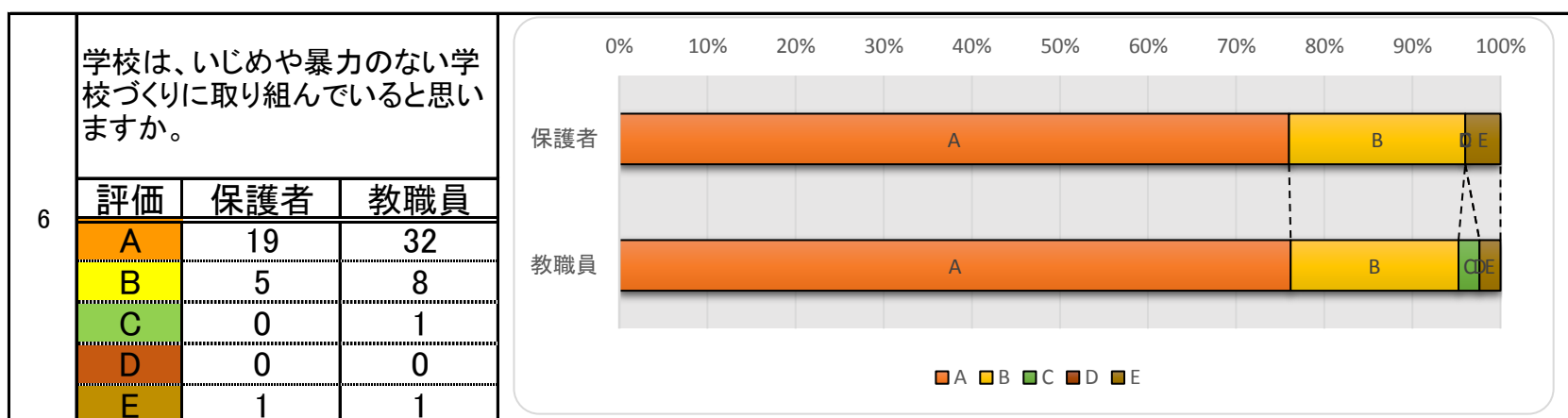
(2) 家庭・地域・関係諸機関との連携(設問3~5)

昨年度は90%を超えるAB評価をいただいていたが、来年度からは知病併置校となり、本来の病弱養護学校としての姿ではなくなるのではという不安を保護者は持っているあらわれか。再編にかかわる不安の声にその都度耳を傾けていきたい。



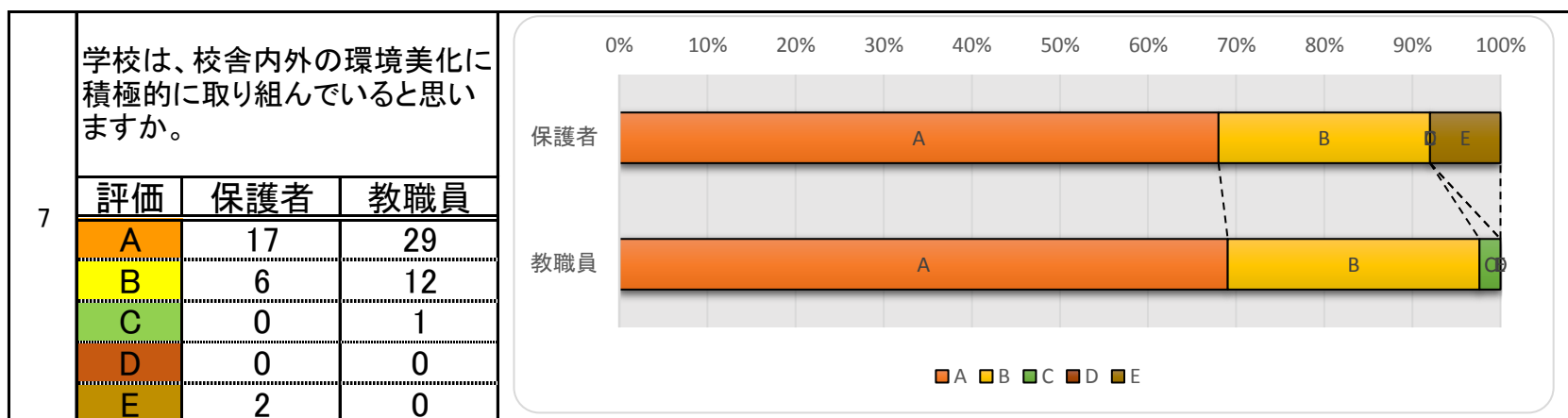
(3) いじめ暴力のない学校づくり(設問6)

保護者、教職員ともにAB評価が95%以上ついた。これからも児童生徒に寄り添った教育活動を行っていくとともに、取り組み内容を発信していきたい。



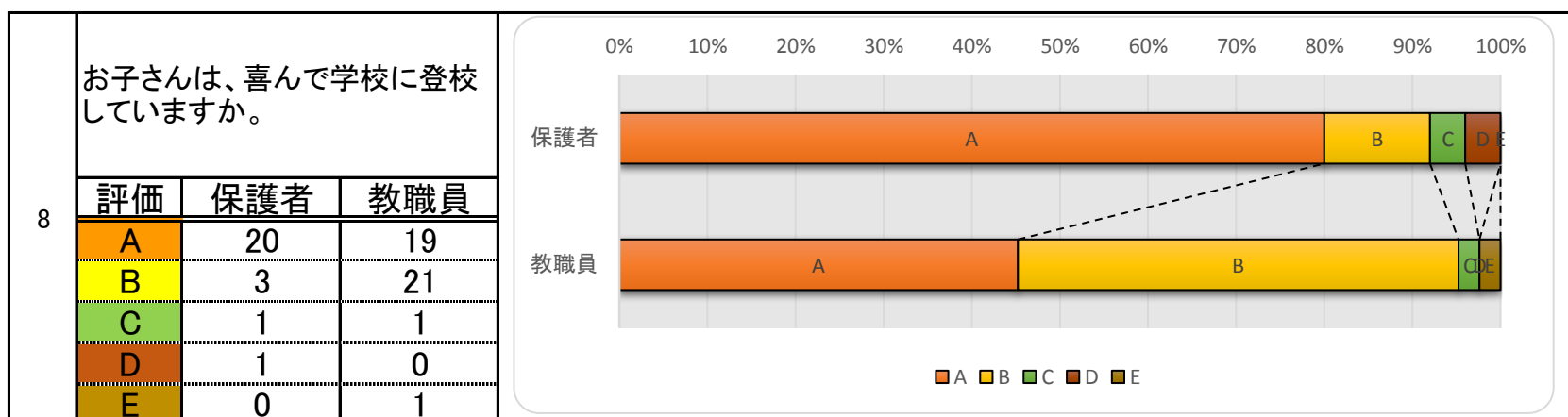
(4)環境整備(設問7)

各部の環境整備への取り組みが高評価へとつながっている。取り組みへの様子を通信やHP等で共有や発信しながら、今後も校内外の環境を整えていきたい。



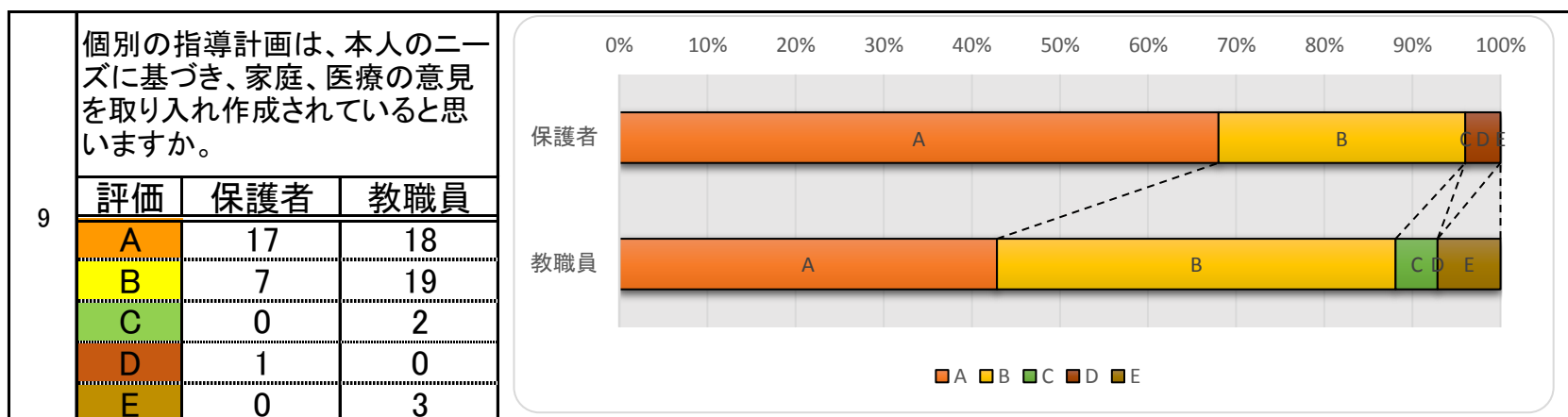
(5)楽しい学校(設問8)

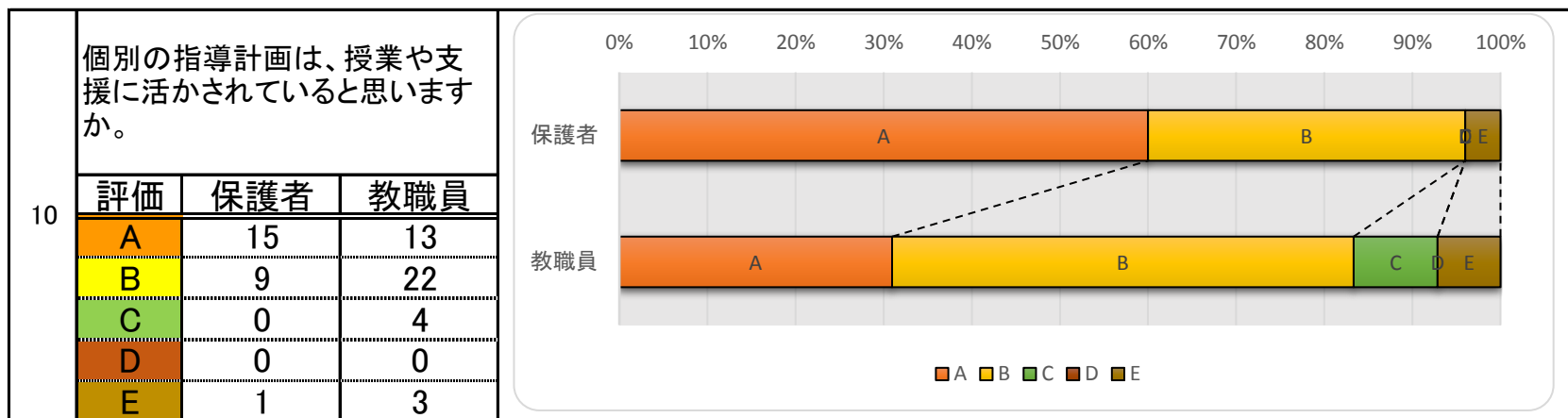
高い評価をつけている保護者が多い反面、不十分と考えている保護者や児童生徒がいるということを常に念頭に置きながら今後も継続して教育支援にあたりたい。



(6)個別の指導計画と活用(設問9~10)

一人ひとりの児童生徒のために、個別の指導計画をもとにした教育活動の推進が定着してきており、支援にかかわる担任と保護者の協力関係の構築が進められてきている。反面、家庭・医療・学校が三位一体となって進められているのか疑問視する意見(保護者)や個別の指導計画の活用にはまだまだ不十分とする意見(教職員)が寄せられた。来年度は新しい体制での学校がスタートする。個別の指導計画の活用を、各部の研究の一つとして取り組み、方向性を出していきたい。

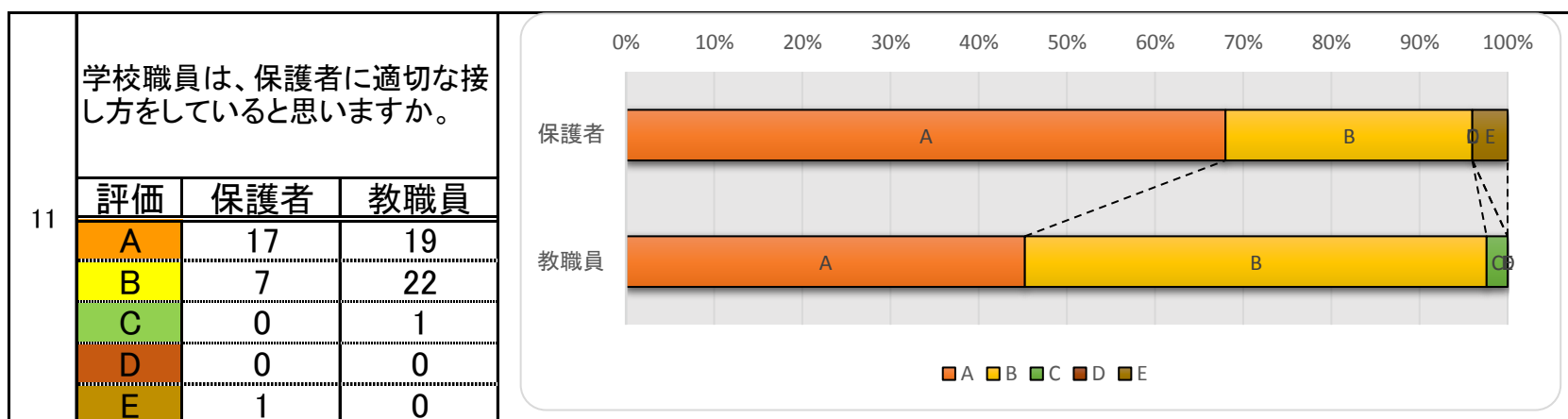




(7) 学校職員の対応 (設問11~15)

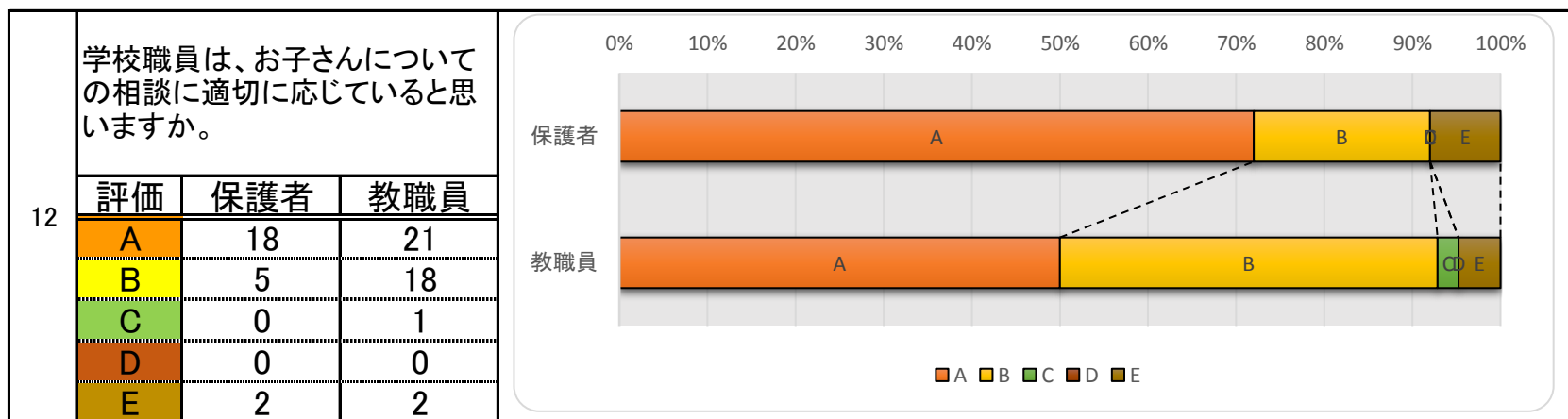
① 保護者への適切な接し方

保護者のCD評価はないものの、「Eわからない」とする評価では、(全員の先生と話したわけではないので)比べられないという意見がある。教職員全員が話しやすい雰囲気を出せると良い。気軽に話せる雰囲気を学校全体で作っていききたい。



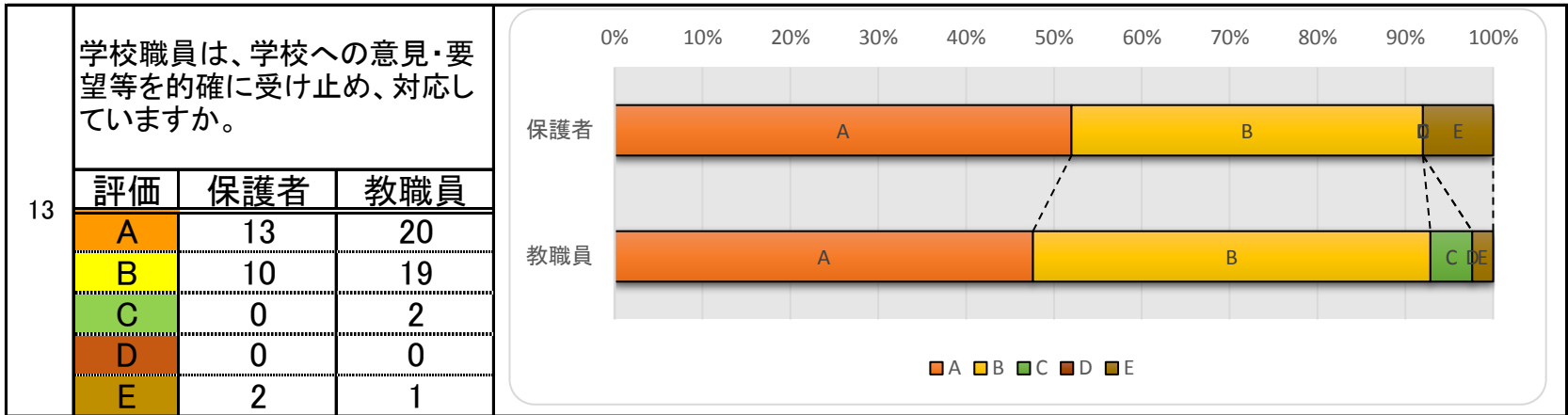
② 児童生徒についての相談

教職員は、児童生徒への対応がどうであったかを再度振り返り、研修を積むなどしてスキルアップしていきたい。



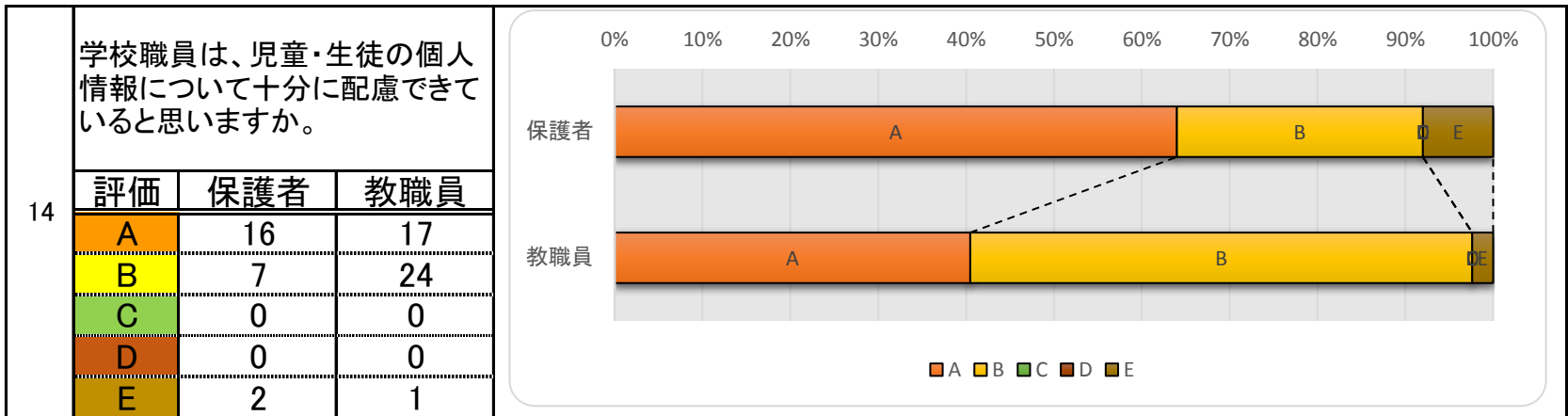
③学校への意見要望の受け止め対応

常に保護者の意見や要望、不安などに耳を傾け、情報提供や相談には丁寧に速やかに行っていきたい。



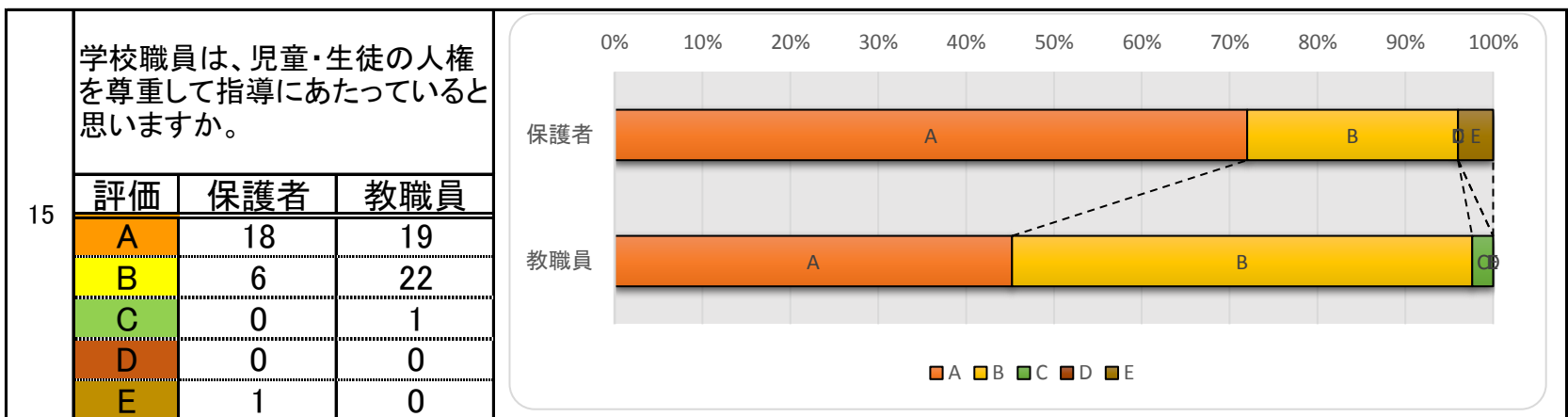
④児童生徒の個人情報の配慮

プライバシー保護に関するアンケート調査を4月当初に実施。肖像権などを含めて丁寧に取り組めた。引き続き徹底した取り組みを目指したい。



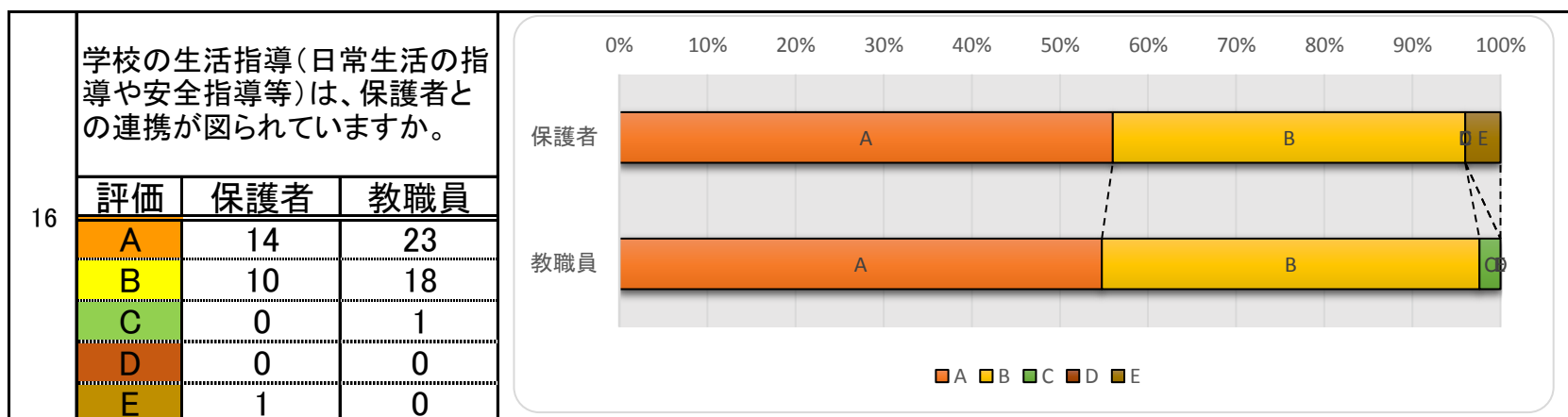
⑤人権を尊重した指導

教職員が自ら人権感覚を意識できるよう、今後も継続して児童生徒を「～さん」と呼ぶことを大事にしたい。



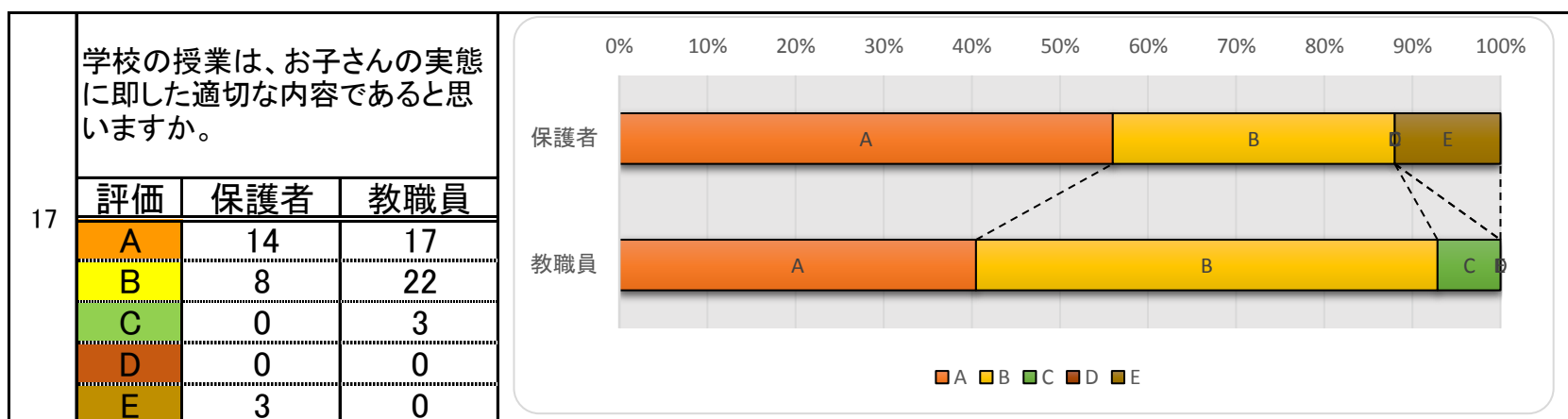
(8) 生活指導(設問16)

更に連携が深められるように努めたいと思います。



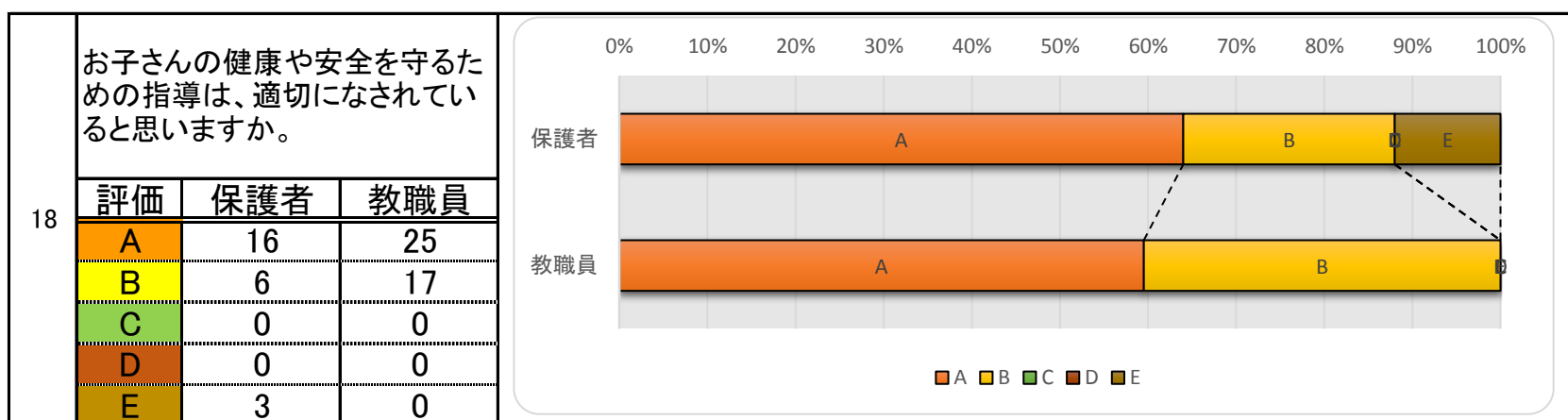
(9) 授業(設問17)

保護者のE「わからない」3名、教職員の不十分3名を重く受け止め、教師は少人数でもそうでなくても「授業をもっと良くする」ことを意識して、自らの専門性(知識や実践力)を高め、教育活動に活かしていくようにしたい。



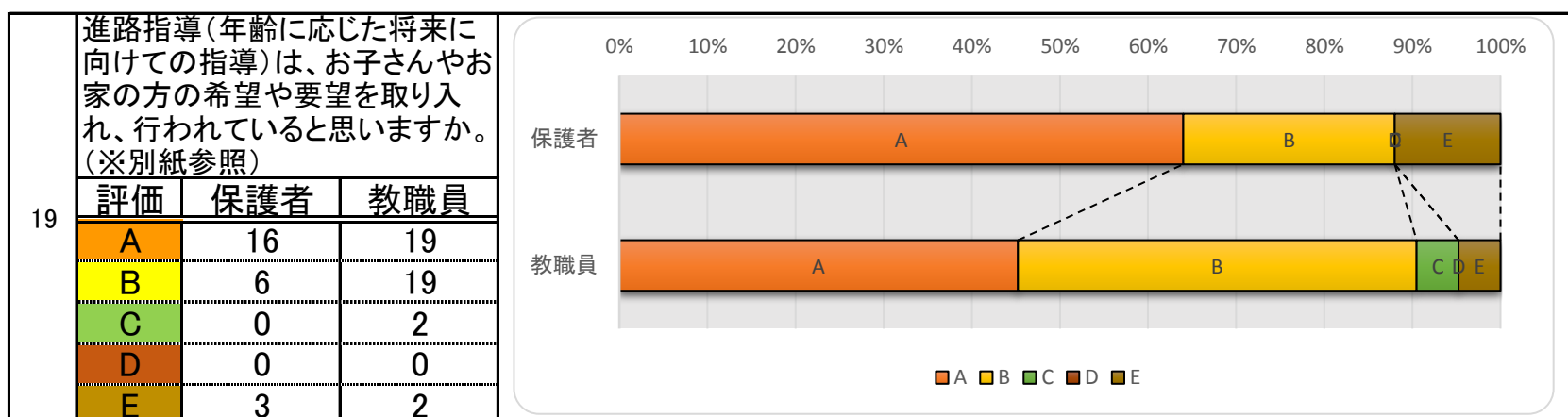
(10) 健康・安全指導(設問18)

学校は、教員・看護師・介護職と複数の職種の方が協働している。互いの立場からの意見交換やそれぞれの専門性を活かした研修の機会をこれからも大事にし、保護者へも発信していきたい。



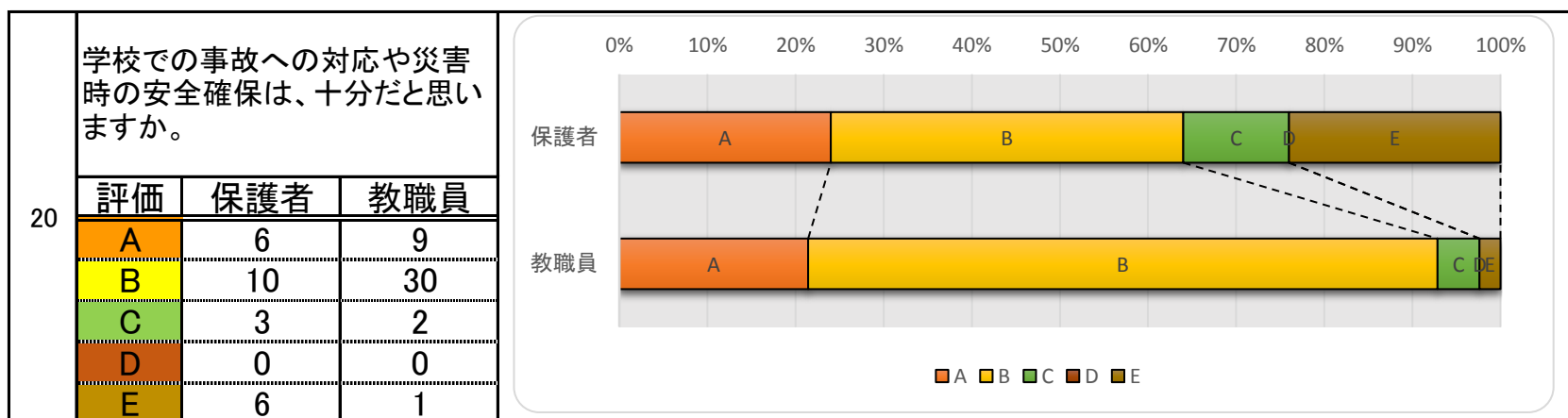
(11) 進路指導・キャリア教育(設問19)

昨年度の保護者のE「わからない」7名から3名へと少なくなっただものの、学校重点の一つである進路指導において「わからない」という評価を重く受け止めたい。卒業後に向けての不安を抱えている保護者もいる。連携が取れる関係諸機関を明示した実効性のある移行支援計画を作成していけると良い。



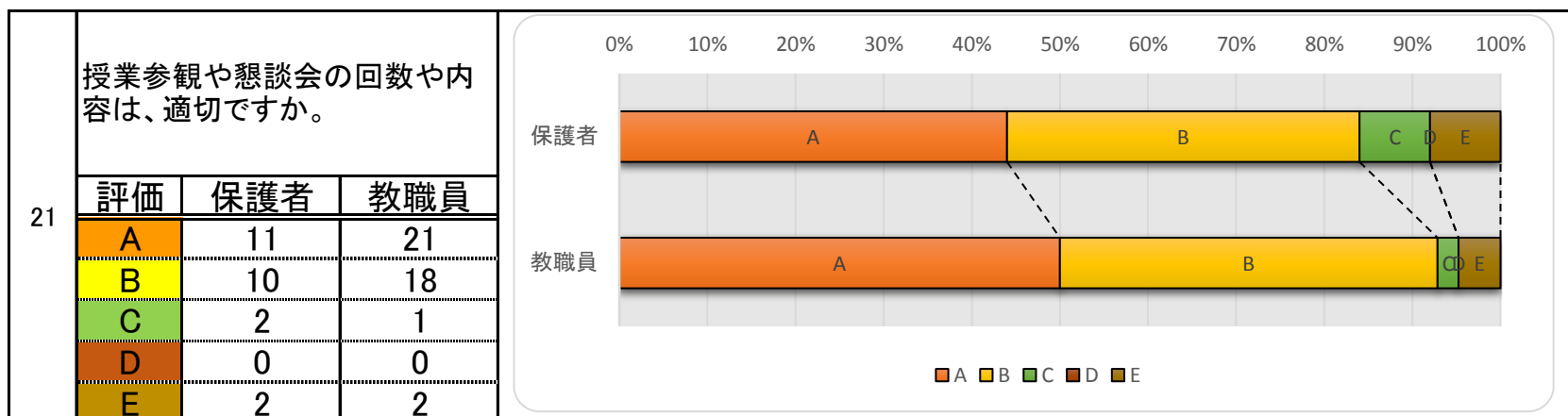
(12) 防災安全対策(設問20)

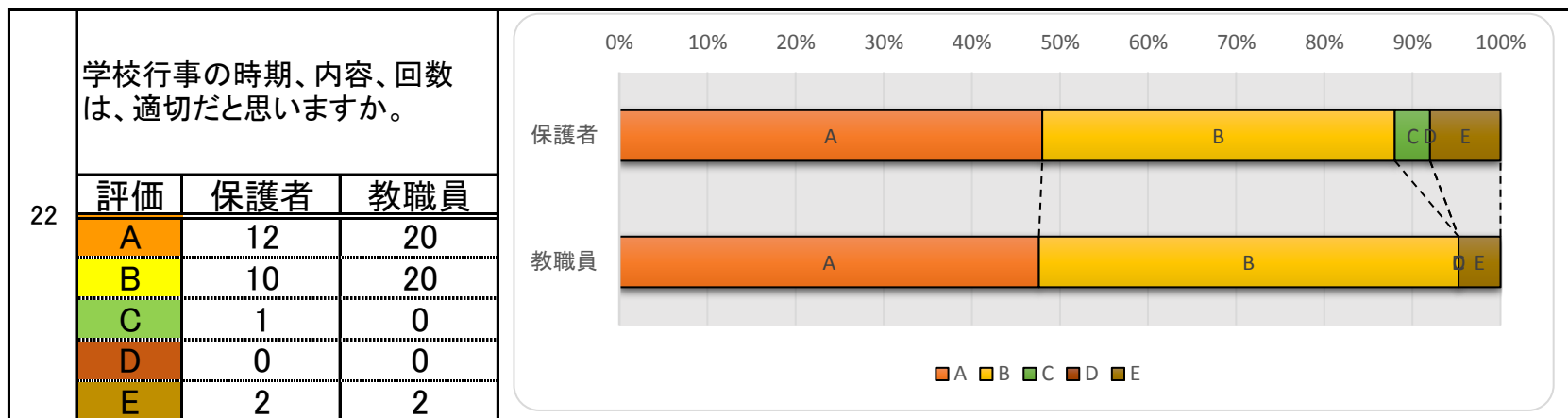
「病院移転後を想定した訓練もまだなので、正直言って不安」「病院移転後の様子が全く説明なく不安」「災害時の備蓄等も全て(毛布・夜のこと)説明がない」「備蓄品、水の確保等が十分とは言えない」「医ケア生の対応も長時間になると不安を感じる」など、病院移転後の安全面に対する不安へのコメントをいただいた。あらゆる想定をし、対応の訓練や緊急時対応マニュアルを一新する等、再編に向けた重要課題の一つとして取り組み、『十分』を目指したい。



(13) 参観日・学校行事(設問21~22)

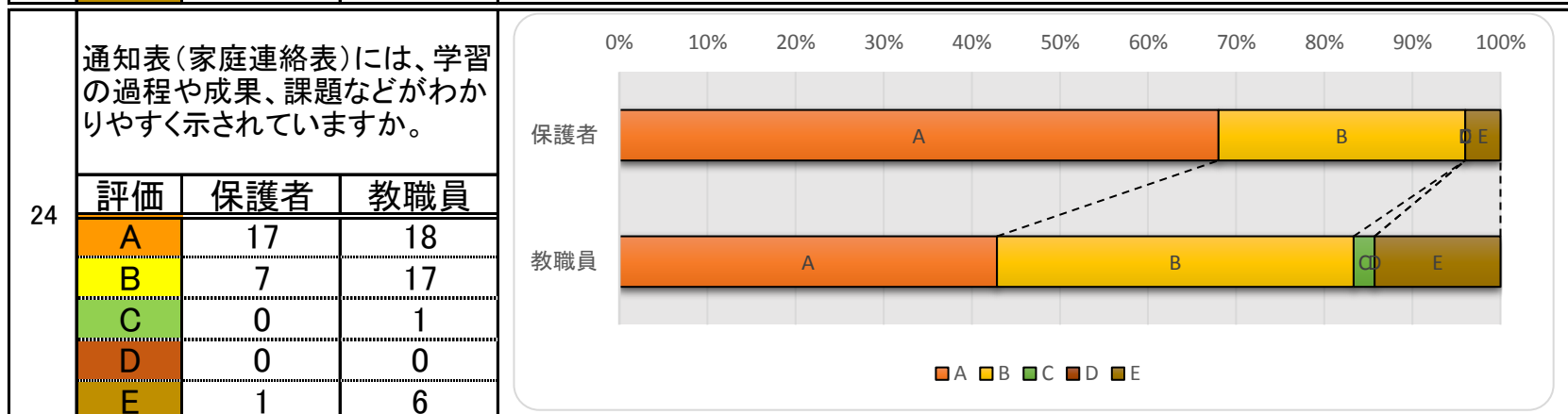
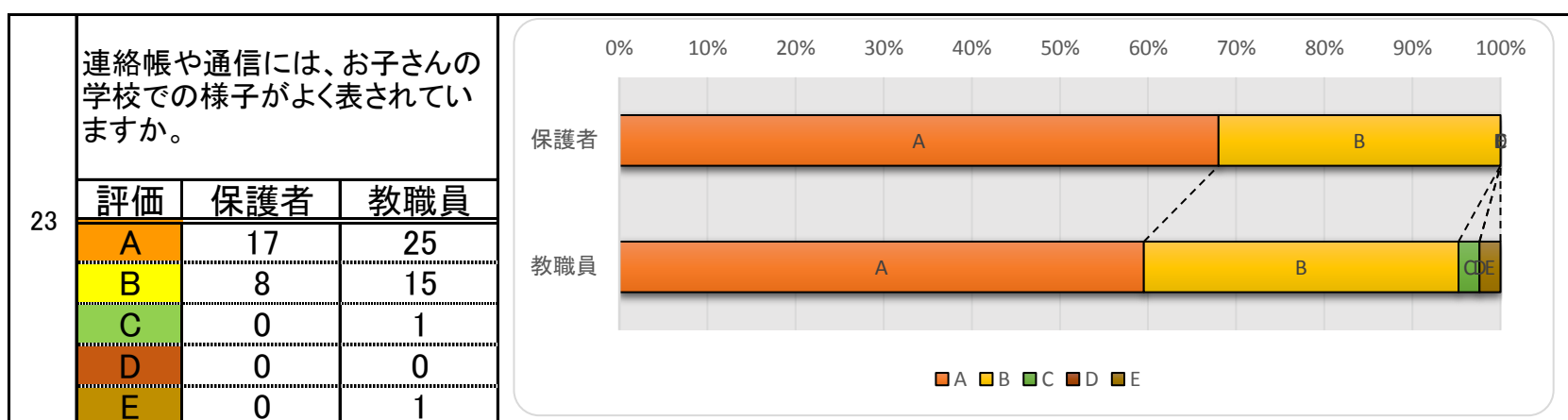
8割以上の方から良いという評価をいただきました。懇談会の回数や参観日の内容についてのコメントをいただいた。回数や内容については新しい体制のなかで模索していきたい。





(14) 評価・情報発信(設問23~24)

学校と家庭との連携が進められる中で、連絡帳や通知表の果たす役割は大きい。単なる事実の羅列でなく、そこから分かること見えてくることも盛り込めると良い。今後ともご家庭に向けたよりわかりやすい情報発信に努めていきたい。



(15) その他(記述による意見)

- ・本校、松ろうキャンパスそれぞれの子どもたちのニーズに合った学校づくりへの期待
- ・大人の事情が子どもに及ぶことがないように細心の注意をし、子どもたちの意見、気持ちを尊重してほしい。
- ・学校、病院、保護者懇談がほとんどなく不安、年々学校病院との話し合いが少なくなる。細かい情報共有の場をその都度設けてほしい。

4 年度比較による考察

保護者、教職員ともにAB評価が昨年度と同じあるいは上回った項目が多かった。
 下回ったもの
 保護者：(2)家庭・地域・関係諸機関との連携3・4 (10)健康・安全指導18 (12)防災安全対策20
 教職員：(6)個別の指導計画と活用10 (7)学校職員の対応13

保護者は再編に関する不安が評価にあらわれていると思われる。
 教職員は個別の指導計画の活用への課題と再編に関する保護者の不安の声に的確に答えられていないのではという思いが評価に表れていると思われる。

5 学校評価委員会考察(まとめ)

本年度のアンケート結果より、4点の成果を認めることができた。昨年度からの課題の改善につながった項目と、成果は上げたが今後も継続的に取り組む必要がある項目を整理し、日常的な教育活動へ活かしていく。

(1) 学校評価アンケートからみた本年度の成果

- ① 学校教育目標に基づき教育活動を行うことで、保護者への理解が深まった。
- ② 再編にともなう校舎内外の工事の中、学校の環境美化が精一杯行えた。
- ③ 各部ともに楽しい学校づくりができた。
- ④ 進路指導において、学年や実態に応じた支援がなされた。

(2) 今後も継続的に取り組むこと

- ③ 楽しい学校づくり → 登校が安定しない児童生徒への更なる支援
- ④ 進路指導・キャリア教育 → 保護者への啓発内容の充実

(3) 課題となった項目・来年度大切に組みたいこと

- 【1】 個別の指導計画の活用 → 様式の工夫・具体的な活用法の研究
- 【2】 確実な防災安全対策 → 3つの学び場のあらゆる想定をした防災対策

6 学校評議員会からの意見

・中信松本病院がまつもと医療センターへ移転後、防災についての規定を見直し、寿台養護学校とどのような連携をしていくのかを病院としても具体的に検討していきたい。

・アンケート回収率について、昨年度比較が2割減ということだが、その「減」については“わからない”として考え、考察していく必要がある。

→ 分かりやすい項目の検討や回収率を上げる取り組みをしていきたい。

・交流は来年度も引き続き実施できると良い。

・再編に向けては、子どもたちの視点を大事にしてほしい。子どもたちが学校生活を送って行く上で、学習環境として適切であり安心安全なのかという視点も持ってほしい。

・保護者への説明はどのようにしてきたのか？

→ (教頭より) 再編にかかわる内容を記載した『再編だより』を年6回発行し、参観日の際には説明会を実施した。

・(再編に関して) 子どもたちからしてみれば、相談もなくどのように進んでいるのかも見えない。環境の変化に弱い子どもたちには、事前に見学会など今後をイメージしやすい支援をお願いしたい。

→ 大切なご指摘で有り、3月には、学校見学会を実施する予定。

・寿台養護学校周辺の交通環境について、2/1に交通量・信号機・歩道の環境を整えてほしいという要望書を提出した。内田地区としても、国の重要文化財に指定されている、牛伏川フランス式階段工の100周年を前に環境を整えていく。

→ たいへんありがたいお話。感謝したい。学校としても出来ることを行っていきたい。